



## 文化祭の記録 2004年度

合

中学合唱 最優秀賞 M3E

優秀賞 M3A · M3C · M3D

優良賞 M 3 B

高校合唱 最優秀賞 HШВ

HIE · HMA · HMC 優秀賞

優良賞 HIIC

演

グランプリ 高校一年学年演劇『我らが隣人の犯罪』 中学三年学年演劇『俺たちは志士じゃない』 中学アカデミー賞

舞台美術賞 中学二年学年演劇『杜子春』 中学三年学年演劇 演技賞 キャスト 審查員特別賞 高校二年有志演劇『恐喝』 高校三年有志演劇『ユートピア』 脚本賞

展示学年部門

中学二年学年展示『スポーツ』 最優秀賞

優秀賞 なし

優良賞 年学年展示『三国志』 高校-

中学三年学年展示『インターネット』

展示クラブ部門

模擬店

最優秀賞 地理部『しまなみ海道』・生物部『大生物部展』

優秀賞 なし 鉄道研究会

優良賞

最優秀模擬店 『焼きそば道場』

優秀模擬店 『喜十撰』・『JERK PARADE』

総務・生徒会企画

チャレンシ゛クッキンク゛ 「ジョニー小幡」 わらわせんなよ 上山幸宏(M3)

にサッカー大会 「タッキー&北野」 3 on 3 「コチンカチンコーホ°チン mission4」

2004年度 体育祭の記録

競 優勝 全Dクラス 応 全Eクラス

がとり行われた。洛星にお火(いわゆる大文字焼き) いても四階テラスの開放が 八月十六日、月曜日、京 時の大文字点火、そ などが多数訪れた。 近隣の方々、生徒、

五山の送り火

点火の際には、大きな感嘆 の声があがり、夏休み中の 学校内とは思われないほど、 れない。 送り火の「穴場」でなくな 場は増加している。洛星が れ以上に、一班の方々の来 たようにおもわれるが、そ した学校関係者の数も増え にぎやかなデラスであった。 昨年と比較すると、来場

な発言をしてはならないのあと、「親善大使は政治的 述べられた。さらにはこの れるべきものではない」と という態度は決して非難さ 人殺害事件については、 「準備不足の感は否めない り、また先日の日本 の皆が笑うという一 現場に実際に行く .............

この後の質疑応答では、

oreningen (1900)

一回文化祭は幕を上げた。 今年度のテーマは むような陽気の中第五十 去る九月十七日、 文 化

(466) 0001 FAX (466) 0777 印刷/彻片桐軽印刷

発

洛星新聞局

京都市北区小松原南町

行

体

育

祭

いものになった。特にロク ラスがマツケンとなった。 キャプスターさくら、Dク クラスが「爆乳」でイエロー んで応接合戦もレベルが高 目を引いたのではないだろ ラスが氣志団、そしてEク キャブ、Cクラスがカード ラスとEクラスは非常に手 スのパネルが完成度も高く あったように中でもCクラ どのクラスも完成度が高く はAクラスがあいのり、 晴となった。今年のパネル 素晴らしかったが審査にも その二日後の十月一日はうつ てかわって体育祭日和の快 なってしまった。そして 雨天の為延期

のこんだものだった。

採用されたことからも分かく回このようなテーマが

**ーアツいこだわり** 

ていたように思える。

伝わったのか準備段階から あり、それが他の生徒にも わりを秘めた者達ばかりで は静かな中にもアツいこだ

すでに熱気が学校を満たし

九日に行われる予定であっ

一字年五クラスとなって にアクロバットをするなど 進み、中にはスタート直後 ス入り乱れての騎馬戦となっ やり直しがあった。) のだ。これによって各クラ 動かなければ失格というも ルがある。序盤に積極的に クラスは音響のトラブルで その他の競技も順調に

の気持ちも大事になるので になるよう、生徒一人一人 途中でリタイアしようとし 中には競技中にあきらめて の後、それによってできた ないだろうか。 かく無事に終わったのだが、 狢星らしいだろう。) とに た生徒がいたのは残念に思 大幅な差をとりもどすのも (そしてそ

さる十一月十一日

善大使などとして知られて プ講堂で開催され、 会場は、中学生のほか、 いる黒柳徹子氏が講演した。 **報道されないような子ども** 最近の主要なマスコミでは 途中入場の高校生のために 予想をはるかに上回る数の で満員となって、さらには いことだが、多くの保護者 の手の講演会にしては珍し どの生徒は熱心に聞き入っ **性氏キャンプなどにおける** 意段は開放しないベランダ の入場も許可された。 話の内容は、 について等の話で、 アフリカの

たからでしょうか」と答え、 「スキャンダルが少なかっ いての質問には、

実に丁寧に応答されていた。の、黒柳氏はどの質問にも ちの問題に対する真剣な姿 ものがほとんどで、生徒た 等大使に選ばれた経 あげてみると、黒柳 ないのだが、いくつ ず、そのことは記事 ぎ発見の質問でも良 印象にはあまり残っ かがえた。もつとも が、質問は真面目な よ」などとも言われ

生徒が、彼女を一目見よう と正面玄関に詰めかけてい

いない生徒を含め百名近い 帰られたが、講演を聞いて の態度には疑問を呈してお 校長応接室で過ごされた後 法などを制定していく政府 講演後、氏は数十分ほど

国民不在のままイラク特措

文

ſĿ

ました。ただ全員が同じと のスピードはよく揃ってい ころでプレスを取ったため うでした。また、目や言な ボの揺らしは本当に風のよ の移り変わりがよく展開が **帷認でき、その中でのテン** くことができました。音程 と楽譜に忠実で裏打ち、息 おとなしくダイナミクス ス。クレッシェンドが少 欠けましたが、自然に聞 まず、優良賞の二年Cク

全体の作り方、楽譜に忠実 るぐらい小さな音量でも芯 な表現力で息の音が聞こえ たため、作り方が雑になっ ランスがよくリズムのキレ、 たところが見受けられまし であることがよかったです。 像的でクレッシェンドのバ かし、二曲とも難曲であっ 次に三年Cクラス。 豊か

わかりにくいところがありま

した。最後にスタミナが切

にフレーズにつながりがな

テンポが速く言葉がわ

のある音が出ていました。 幅広く楽譜に書かれていな いことも行い表情がついて

|上||スは二曲の選曲に非常に工

次に優秀賞。一年Eクラ

のバランスがよくすべての 夫がなされており、パート 思います。 れてきたのが非常に残念に

出来でしたが、ハーモニー が雑で音程にばらつきがあ 薄れるところが多くありま り全体的に荒削りで効果が いもよく強弱もそれなりの 歌い方が明瞭でかけあ ラスの特徴にあった選曲が 出来ていました。また、ク 目に出て荒削りになるとこ かったのですが、それが裏 ら完成度は高いものでした。 なされ難しい曲でありなが 体をしっかり支えることが もう一工夫欲しいところで ただ強弱の差があまりなく に力があり、厚みがあり全 した。元気があったのでよ 次に三年Aクラス。低音

全員で歌うところが少し小 を増やしてもよかったので ピアノ伴奏もよく落ち着い さかったのが気になりまし で気を配り崩れなかったの 曲が四曲続く中で新しい解 はすごいと思います。ただ 状の仕方がよく、あの速さ ていました。 もっとパート でも流れてしまわず細部ま と思います。また同じ

の小ささダイナミクスが特 つぎに三年Aクラス。p 非常にかっこよく。最後の

す、雑になるところがあり をあまり支えることが出来 したが低音に力がなく全体

まず優良賞の三年Bクラ

中

ろがあったのが残念です。

弱の差がなく地声と混ぜる 体的には丁寧でしたが、パ セットを使った分高音に強 部がきれいで元気がありま ていませんでした。 スが悪く歌詞と音量が合っ ワーが強くないためバラン と違和感を覚えました。 スはハミング・ファルセッ に歌えていましたがファル 「がよく、明瞭で楽しそう 次に三年ロクラス、高音 次に優秀賞。三年Cクラ 全 きれていたと思います。ま モニーが美しく中学で四部 クラス。全体としてはハー に挑戦しながらよくまとめ そして最優秀賞の三年E

パートが成立していました。 クラス。高音が美しくハミ のがとても惜しかったです。 曲が似たようなものだった 思います。ただ、選んだこ 高度なことができており、 いました。また、技術的に できており、観客が吸い込 ングや難しい和音が完璧に 右に出るものはなかったと 全員の音色が揃っていまし まれるようでした。ソロも そして最優秀賞の三年B 技術ではこのクラスの

CDよりよい演奏であったと fffはコンクール全体で最 思います。 大の音量で迫力や発声のし だわった工夫がされており かたといった演出面でもこ

曲の作り方がよく自然に聞 こえました。 また、これらのクラスは

う。実は私、文化祭前に

|今年は電光掲示板になる|

化は「垂れ幕」の消滅だろ

今年の文化祭の一番の変

た。 をとらないよさがありまし スもこれらのクラスにひけ 二年Dクラス、三年Dクラ また、賞をとっていない

> メーションだったために単 のだが、どの賞も同じアニ という噂をちらりと聞いた

達であると言える。

解決法といったところで、

いて少々期待はずれだった。 調なものとなってしまって

しかしながら採用一年目な

わけだし、今後さらに活用・

夫されており、聴衆を完全 ころもありました。 以外に部分が聞こえないと 少しゅを意識しすぎたため に魅了していました。ただ これらのクラスは選曲に あいまいになりメロディー

> 時には、スピーチと連動さ 例えば演劇や展示の講評の

を使うのだから、将来的に あろう。せっかくパソコン 発展させることができるで

(というか来年から)は、

せて写真を映し出すなどと

かったなと思います。また 用にアレンジされたものは ときのよさが発揮出来てい 感じられました。もっと 担当した人に歌いにくさが メロディーが強いため合唱 ポピュラーな曲を選曲する 対照的に一年生や二年生は なかったのが残念でした。 緊張を隠せずリハーサルの メロディー以外のパートを とうが多くありましたが、 する熱意が見られました。 、合唱曲、を選び合唱に対 年生は初めてステージで 常に悪かった。生徒会企画 の表彰の時に明らかに関係 かった時(閉会式)には既 のない高三生が多数壇上に 閉会式における受賞団体の 使用が思わぬ影響をもたら 見ることができないからだ。 などと思っても、結果が分 団体の展示を見に行こう」 たいものである。というの プロジェクターだが、その マナーが、かつてない程非 に解体されていて、二度と も現状では、「賞を獲った いったことをやってもらい したように思う。今年は、 さて、そんな将来有望な

中学演劇全体でかなりこっ たものがあり、中1も初め どの舞台装置においては、 中1はキャストの表現力が ました。大道真・小道具な 常に素晴らしいものが見れ キャストが演技賞というこ みてとれました。また中3 なり長いセリフもしっかり 多少欠けていましたが、 演技としては高校演劇で非 とになりましたが、個々の 言えていて、練習のあとが した。簡単な講評をすると、 で全学年が参加してくれま 今年は中1から高3ま 劇 果などは劇に合ったものが たのは残念でした。来年は ども非常によかったです。 ろうさまでした。 ることを期待しています。 年も全学年が参加してくれ この点をふまえてプログラ リの対象から外れてしまっ らず高2・高3がグランプ が参加してくれたにも関わ 使えていて、 タイミングな スがなかったし、高校の効 演劇団体のみなさん、ごく ムを組んでもらうので、来 最後になりますが、全学年 います。中学はほとんどミ 明をうまく使えていたと思 の演劇は全体的に効果や照 しています。そして、 今年

演劇パートリーダー HIC 国友 即

てにも関わらずかなりのも

のができていたので来年も

いものが見られると期待

うため演題を中 これはプロジェクターを使 ていたが、このような事態 かわらずゾロゾロと上がっ 合唱の時でさえも、代表者 は私の知る限り初めてだ。 上がっていったのを皮切り ........... 一名と言われているにもか 例年おとなしい展示や

てしまったのが いであろう。 うことは否めな たらと広くなっ よって舞台がや 央から撤去して ひどいものだが、 けでもなかなか 遠因であるとい 人数で上がるだ しまったことに

ならないし、第一、閉会式 かという心配もしなければ まう。また大挙して来られ いではないが、あまりに度 マイクによる勧告も何度も は想定されていないのだ。 にはそのような無駄な時間 ると、くす球を割られない が過ぎると客席は冷めてし て嬉しい気持ちは分からな 果てには記念撮影をしてい た団体もあった。賞を獲っ して、挙げ句の

その上胴上げを 文化祭と審査の関係 スカレートして

うだったろうか。こちらは、 きたい)。 るわけではないということ そのものに疑問を呈してい 少々妙な講評が多かった 賞を与える側についてはど れも留意しておいていただ 側の問題を述べてきたが、 ここまで、 (ただし、決して審査結果 賞を受け取る

ては、お世辞にも受賞団体 例えば、中学合唱につい

あったが、すっかり舞い上

展 示

演

年表、上に人物などの詳細 く調べてあり模造紙は下に とも非常に丁寧なもので、 体的に数室で騒いでいたり の学年展示は内容が深く広 を抜いていました。優良賞 今年の学年展示の中では群 外来のお客様の評判も良く、 り教室に活気を持たし、 の中にあって最優秀賞の中 の上で模造紙は文字、内容 ルで効果的な取り組みによ の使用や寸劇などのコミカ ていたのが残念でした。そ にくい雰囲気になってしまっ する団体が多く教室に入り 一学年展示はキャラクター まず学年部門ですが、

が書いてあり見やすくなっ ことに気付いていない生徒 多大な迷惑を及ぼしている がってしまっている連中の 行為が、文企の裏方たちに 終わっていた。自分たちの 耳に入るはずもなく徒労に

にひどい場合は その場で賞を取 基本的に団体の 今後ますますエ らいの手荒なこ り消す (!) 待するしかない。 モラル向上に期 とをしない限り、 かし、あまり

しまうのではな いかと感じられ はないだろうか。 曲が出てきてしまったので 唱のように課題曲のような るからこそ、今回の高校合 れが審査する側の姿勢であ 姿勢だとしても、いや、そ たとえそれが審査する側の て 減点対象となるような 感があった。しかしながら、 いものとみなされてしまっ

ただけで賞を獲ることがで きたとは思えないのだが、 ンが……」という話が出て いたが、まさかあれを作っ 定規模の大きなポップコー また模擬店の講評では、

れるバ

ランス感覚ではない

よる視覚効果、とてもきれ いな文字でかかれた模造紙 まず地理部ですが模型に ......

から」というよりむしろ 評は、いわゆる合唱曲でな が強く、たとえ賞に関係し 残っちゃいましたという、 なかったから」賞を与えた、 出しをすると、「良かった た後に、あまりに多くダメ か。というのも、一言褒め 講評を聞いていて妙な気分 ていない高校生であっても、 番査する側の一種の傲慢さ つまり、いかにも消去法で のだったのではないだろう になった人が多いのではな への講評とは言いがたいも いだろうか。また、あの講 他に賞をあげるところが ŧ

かったとしてもやる気がな ければ、たとえ歌い方が良 ういう事柄の差が賞の優劣 的に、奇抜なことをした団 につながったのか、といっ とはあったものの、枚挙に るし、マンネリ化を打開す なことに忠実だった団体の 体が有利で、一方、基本的 皆さんはどう思われたろう かったように感じられたが たことがわかりにくい 賞を獲ることができ、又ど を求めることは、主催者側 ていたようだった。 奇抜さ 評価はやや置き去りにされ には分からない)講評が多 全般的に何が良かったから 暇がないので割愛するが、 についても、色々思ったこ (文企) としては当然であ 今年のコンクールは全体

の学年展示と同じように接 になっていましたが、多く 文字は読みやすく内容も用 ンターネットは印刷による く優良賞の中三学年展示イ ム映像を使ったことには少 少ないこと、人物画にゲー 各面が悪いことが残念でし により、わかりやすいもの 語解説などを付加すること ていましたが、考察などが し疑問が残りました。同じ

今年の最優秀賞は地理部、 生物部のいずれかの優劣を 破傷秀賞として表彰しまし つけ難かったため2団体を 次にクラブ部門ですが、

とや

たことにより、専門的で難

という特殊で興味深いテー

マを多数の主婦により多角

...........

編集後記

しくなりがちな内容を、

えて欲しかったと思う。も ないような大きな看板をテ ポップコーンにひけをとら あったはずであり、そのこ については講評で何も触れ ねないのだが……。 な食べ物。が軒先を連ねか いのならば、来年は『巨大 とについてもう一言付け加 られていなかったことから ントの上に掲げていた団体 かりやすく説明してあり、 しそれ以外に受賞理由がな 何か他にも受賞理由が たらと

受験生生活始めました。

(日のあるうちに帰りたい)

師走四日記

その他、高校合唱や展示 かりに いのだ。 く、審査する側にも要求さ 求めるような団体ばかりに と奇抜さという相反 ではないはずである。 奇抜さばかりを追い このことは、審査さ 素をどう組み合わせ 文企)の追究する文 とは審査する側(す そのような団体が増 客は目も当てられな 的なことが欠如して ことにもなりかねな しまっては、文化祭 その結果、本質的 (団体) だけではな

ても、素晴らしく最優秀賞 てくれる接客面のどれをとっ による内容、進んで説明し

らも素晴らしい展示に

もが理解できるものではな

やはり偏りがあり、誰



協力ありがとうございまし

ました。新しい挑戦へのご な雰囲気が造り出されてい 利用し画廊か美術館のよう ワイエという新しい環境を れました。また美術部はホいため今回の授賞は見送ら

の生物部は、実験をするこ 単語の補足説明を入れ 生物を実際に置くこ 用できていましたが、少し え、表やグラフが有効に活 VTRなどには疑問が残り な飲み物に焦点をあてたう 高二学年展示ですが、身近 ても少しお話します。まず いたらなかった団体につい ことが 模造紙の文字が汚なかった た内容の冊子などによりイ なっていました。 ンパクトはありましたが、 その他のおしくも授賞に 優良賞の鉄道研究会は、 。また文藝部は恋愛 内容に偏りがあった 本文と関連性が薄い 残念でした。 模型や非常に充実し

の本質には関係ないことば るためには必要不可欠だ。 ような良いこともあるが、 的な見方ができていました 歩間違うと、その催し物 ) する。 もちろん、 レットを作成する展 は、翌年の文化祭に ながら、各種コンクー 団体が気をとられる ても一向に構わない が年々増えたり、や るのが流行ったり、 拠に、模擬店でIシャ また事実であり、そ らぬ影響を与えてい 査結果やその講評と 「水車」が流行った . . . . . . . . . . .

なってしまった。 に入っているような気分に コレを書いていると新聞局 (みる物語)

……成績がね……

(老兵)

今回は縮小版です。いや、

僕ら追い越して行くんだ。

PERSON)

小さな手でもいつの日か

局員 副局長 # HIIB川端昇徳 HIII口宮岡 潤 HIIC中村彰宏 HIC河野大智

顧問 荻野一茂 子安克実